



# スカウト あいち

No.213

2013.7.15  
発行部数 13,950部



## 平成25年度 愛知連盟年次総会を開催

平成25年度愛知連盟年次総会が、6月16日(日)に刈谷市産業振興センター小ホールで、団委員長を始め関係者多数の出席のもと開催されました。物故者への黙禱が捧げられたあと、岡谷連盟長が歓迎の韓国語も交えて式辞を披露。続いてご来賓の大見衆議院議員(ボーイスカウト振興国会議員連盟)、堀寄県議会議員(ボーイスカウト振興愛知県議会議員懇談会・幹事長)、村瀬愛知県県民生活部社会活動推進課課長、キム韓国スカウト・ソウル北部連盟長からそれぞれ祝辞をいただきました。次にご来賓の方々が、順次紹介され、この間、大見衆議院議員より新海氏、斉藤氏に「表彰状」が、岡谷連盟長より堀寄県議会議員に「感謝章」が、同じくキム連盟長に「県連特別有功章」が、キム連盟長より岡谷連盟長に「無窮花(ムクゲ)金章」が、同じく永井理事長に「感謝記章」がそれぞれ授与されました。

続いて、年次表彰式に移り日本連盟の表彰、県連盟の各種表彰が行われました。

そして、休憩をはさみ総会にはいり、永井理事長の挨拶の後、議案の審議にはいりましたが、質疑応答をまじえ、5つの議案はすべて承認されました。

更に、午後からは平成25年度団委員長研修協議会となり、船橋副理事長の挨拶のあと、日本連盟先達・顧問、杉原正氏より「ボーイスカウト運動が目指すもの」～未来(あす)に向けてのスカウト運動を考える～と題する特別講演があり、自身のスカウト時代、青少年を取り巻く環境の変化、スカウト運動の成り立ちと日本への伝播、近年の周年行事の取り組みなどを通して、ムーブメントになっていない、コミュニケーションの重要性(入るも入らないも母親だ)、お金のかからない活動を、スカウト運動が信頼されているのか等、改めて現在の問題点が指摘され、「社会との接点は、団委員長が責任を持っている」と締めくくられました。次に各種委員会の報告があり閉会となりました。

●発行／日本ボーイスカウト愛知連盟 事務局：〒461-0011 名古屋市東区白壁1-50 愛知県白壁庁舎4階  
TEL：052-972-6281 FAX：052-972-6283 ホームページ：http://www.scout-aichi.or.jp E-mail：office@scout-aichi.or.jp  
●編集／スカウトあいち編集チーム ●印刷／名鉄局印刷(株) 印刷部数 13,950部

愛知スカウト人口(平成25年7月1日現在)団数 200団 隊数 909隊 スカウト 7,369名 指導者など 5,520名 合計 12,889名

# スカウトあいち **ホットニュース**

## 第16回日本ジャンボリー 第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー 2013年夏山口県「きらら浜」で開催

会期／平成25年7月31日(水)～8月8日(木)  
主会場／山口市阿知須・きらら浜  
参加者／国内外から約14,000人  
(小学6年～高校生年代のスカウト及びスタッフ・指導者)  
世界スカウトジャンボリーのプレ大会として開催

### 第16回に本ジャンボリー大会マークについて

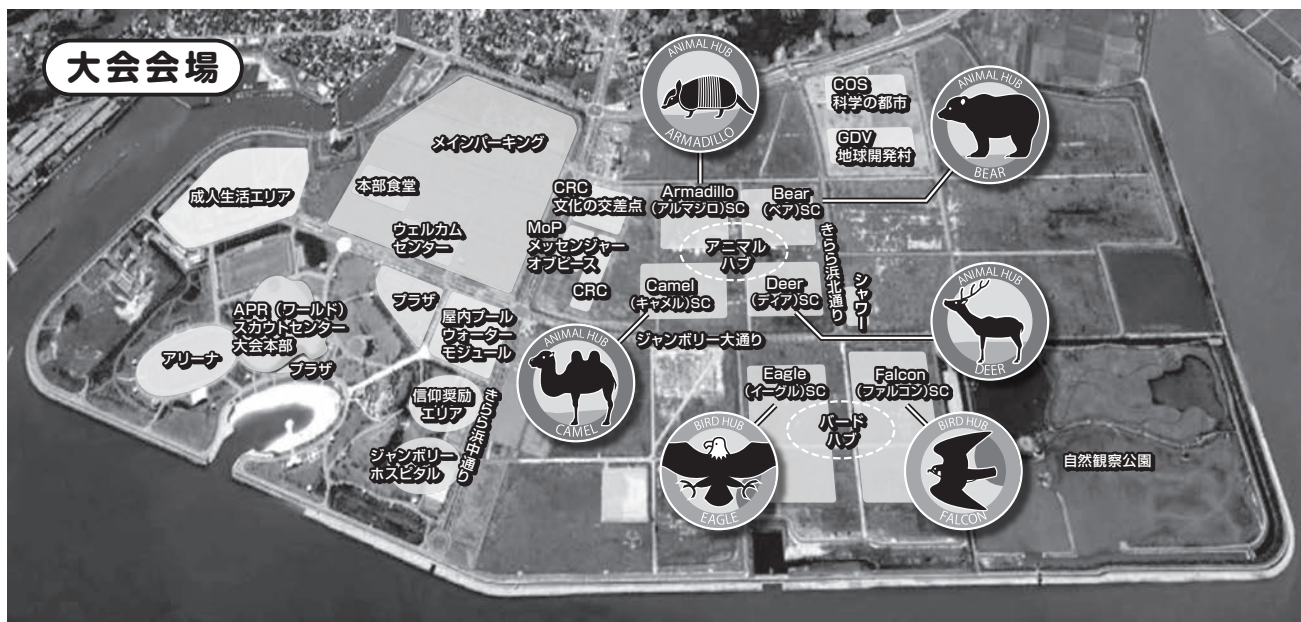
日本特有の「水引き」をモチーフに、印象的な飾り紐と結び目はスカウトジャンボリーの仲間を象徴し、人がつながる、世界はつながるというメッセージが込められています。3つの色は、両大会のコンセプトである「力」「革新」「調和」を表現しており、特に緑は会場である山口県の豊かな自然を、青は瀬戸内海の内海を象徴しています。



大会期間中のスケジュール

|        | 7/31 | 8/1  | 8/2   | 8/3   | 8/4     | 8/5     | 8/6   | 8/7   | 8/8 |
|--------|------|------|-------|-------|---------|---------|-------|-------|-----|
|        | 水    | 木    | 金     | 土     | 日       | 月       | 火     | 水     | 木   |
| 午前     | 入場   | 設営   | プログラム | プログラム | アリーナショー | プログラム   | プログラム | プログラム | 撤収  |
| 午後     | 設営   | 開会式  |       |       | アリーナショー | 地域プログラム | 開会式   | 開会式   | 開会式 |
| デイビジター | —    | 午後のみ | ○     | ○     | ○       | ○       | ○     | 午後のみ  | —   |

※アリーナショー…スカウト等による演技披露など



### 第16回日本ジャンボリーについて

16NJ愛知連盟派遣団長(県連盟コミッショナー)  
氏家 邦政

待ちに待った「第16回日本ジャンボリー」は、第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリーとして、さらに、2015年と同じ会場で開催される第23回世界スカウトジャンボリーのプレジャンボリーとして開催され、アジア太平洋地域を中心に54の国と地域から約1万4千人が参加し、愛知連盟からも約1千5百名が、参加準備を進めております。

ジャンボリーは、参加者が文化交流を通して、お互いの文化について学び、そのことによりお互いの友情を深める楽しい機会とな

りますので、多くの体験を積み、新しい友情や友好の輪が広がり、参加者一人ひとりの心に残る素晴らしいジャンボリーとなるように祈念いたします。

そのため、「ジャンボリーがスカウトの成長にどのような位置づけとなるのか?」ジャンボリーに参加される前に、スカウトと指導者の間で、また、スカウトと家族の間で、ぜひ話し合いの場所もっていただきたいと思います。

では、ジャンボリーへの参加の成果が、目に見えて確認ができる日を楽しみにさせていただきます。

*Have a nice jamboree!*



# 菊章受章39名おめでとう!

平成25年3月1日～5月31日

| 地区名     | 団名       | 氏名         | 隊長名    |
|---------|----------|------------|--------|
| 名古屋翼    | 名古屋第8団   | 勝川 百合香     | 田辺 美佐子 |
|         | 名古屋第97団  | ガニエ ジョゼフ真人 | 小澤 正明  |
| 名古屋西部   | 名古屋第112団 | 岩原 彩       | 伊藤 慎一  |
| 名古屋千種   | 名古屋第87団  | 三浦 陽菜      | 山下 直人  |
|         | 名古屋第89団  | 北嶋 陸       | 森田 高陽  |
|         | 名古屋第91団  | 丹羽 雄大      | 横山 元康  |
| 名古屋北斗   | 名古屋第82団  | 安田 奈未      | 森川 雅史  |
|         | 名古屋第90団  | 中垣 詩音      | 井垣 利繁  |
|         |          | 古戸 一輝      |        |
| 尾張南     | 弥富第1団    | 伊藤 誠       | 服部 庄吾  |
|         |          | 坂野 遙香      |        |
| 尾張東     | 犬山第7団    | 一柳 明里      | 小倉 正啓  |
|         | 大口第1団    | 佐橋 拓弥      | 山田 治   |
|         | 江南第1団    | 新田 大騎      | 加納 康陽  |
|         | 江南第4団    | 北村 楓香      | 伊藤 栄志  |
|         | 瀬戸第5団    | 渡邊 渉       | 小川 恭平  |
|         |          | 加藤 宏幸      |        |
|         | 瀬戸第6団    | 原 慎生人      | 原田 信孝  |
|         | 春日井第2団   | 吉村 直記      | 小木曾 俊彦 |
|         |          | 牧山 大樹      |        |
|         | 春日井第4団   | 小澤 晴       | 加藤 賢一  |
| 柴田 雅弥   |          |            |        |
| 二宮 健悟   |          |            |        |
| 春日井第10団 | 古澤 絵美亜   | 山口 貴美江     |        |
|         | 磯部 未来    |            |        |
| 碧海      | 安城第4団    | 河原 明日翔     | 林 洋将   |
|         | 碧南第1団    | 石川 敦也      | 石川 幸男  |
| 三河葵     | 岡崎第1団    | 岩月 章       | 足利 義興  |
|         |          | 足利 剣       | 森 紀憲   |
| 穂の国     | 豊川第1団    | 柴田 有希      | 石黒 智也  |
|         | 豊川第4団    | 大芝 舞子      | 小野内 康伊 |
| 豊田      | みよし第1団   | 豊田第1団      | 加塩 久信  |
|         |          | 鈴木 かなで     |        |
|         |          | 鈴木 天       |        |
|         |          | 中田 登生      |        |
|         |          | 田中 一州      |        |
|         |          | 加藤 真人      |        |
|         |          | 岩田 敬太      |        |
| 木戸 陽菜乃  |          |            |        |
| 高木 里奈   |          |            |        |

## 緑化プロジェクト 海外報告

愛知ローバス会議 議長(名古屋西部地区 名古屋第23団)  
荒川 航一

4月5日から7日にかけて、「第七回愛知連盟・韓国ソウル北部連盟ローバス緑化プロジェクト」が韓国にて実施され、愛知連盟からは7名のローバースカウトが参加し、韓国ソウル北部連盟のスカウトと共に、植樹活動を行ってきました。



この派遣はローバースカウトの実施するプロジェクトですが、ローバー世代の韓国スカウトとの交流をより深めプロジェクトの発展を期すべく、今回はこれまでになかった試みをいくつか実施することができました。

中でも韓国スカウトに日本食を提供したことは、予想以上のうれしい反応があり、両国スカウトの距離が縮められ親近感の醸成に大きく寄与できたかと思えます。

今後もこのプロジェクトが後続のスカウトに引き継がれ、進歩・発展を遂げ、両国スカウトの絆がさらに強まることを願っています。





# ニュース & トピックス

## 〈知多〉

### タイムスリップし城盗り合戦 知多北部地区第10回ビーバーまつり

知多北部地区 大府第2団ビーバー隊長 依田 文彦

3月24日大府市役所横の向畑公園で地区のビーバーまつりを開催しました。集まったビーバースカウトは51名、体験参加が32名でした。当日の天気予報は良くなかったのですが、きれいに晴れてみんなでゲームをやるにはちょうど良い天気となり、みんな元気に楽しく遊べました。



今回のビーバーまつりのテーマは「スカウト達が戦国時代にタイムスリップして、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康になって城盗り合戦ゲームを元気よくみんなで楽しむ」です。戦国ゲームでは、東海、知多、東浦、大府のベンチャー隊の協力もあって、モンキーブリッジ・信号塔による戦国の舞台が出来ました。ケガをするスカウトもなく、みんな元気よくゲームを楽しめてよかったです。ありがとうございました。

### 「B-P祭、みんなでお餅つき大会!!」

知多東地区 半田第3団ベンチャー隊長 尾関 正浩

2月10日(日)に半田市・西成岩区民館にて半田第3団のB-P祭を開催しました。今年のB-P祭ではビーバーからローバーまでの各隊スカウトが集結して「お餅つき大会」を開催しました。6升ほどのお餅を、あっという間に「ペロッ」と食べきりました。みんなであついたお餅はとても美味しかったです。



### 段ボールを積んでアイデアを競う 知多西南地区カブラリー2013

知多西南地区 総務委員会広報部会 武豊第1団 山下 恵広

3月17日(日)、武豊町立富貴小学校グラウンドで知多西南地区カブラリーが開催され、各組対抗のダンボール工作に挑みました。当日は、天候にも恵まれ、暖かい日差しの中、趣向を凝らした作品が出来あがっていく様子は圧巻でした。また、地区委員による炊き出しの豚汁に舌鼓を打ったり、ベンチャースカウトによるダンボール迷路を楽しんだり、終始笑顔のあふれるカブラリーとなりました。





# ニュース & トピックス

## 〈三河〉

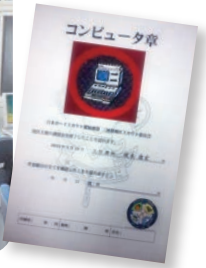
### 分かり易かったと好評「コンピュータ章 講習会」

三河葵地区 スカウト進歩委員長 寺村 公佑

今回で5回目を数える地区スカウト進歩委員会によるコンピュータ章の取得を目指す講習会が、3月10日、岡崎情報開発センターで開催されました。

講義は地区のITスキルを支えるHP班の皆さんによりなされ、受講者から大変分かり易かったと好評でした。

加えて、スマートフォン等のトラブルに巻き込まれない使用法も盛り込まれており実践的で、指導者の方たちにも薦めたい有意義な講習会でした。



### 『ダンボール基地を作ろう!』と銘打ったPR活動

穂の国地区 豊川第4団 団委員長 三宅 耕一

4月30日(火)、豊川市のふるさと公園内において、ボーイスカウト活動PR事業として『ダンボール基地を作ろう!』を開催しました。

参加対象はビーバーとカブ年齢に絞り、保護者を交えて行いましたが、200名近い参加者がありました。

運営は団委員と各隊指導者及びスカウトが対応し、思い思いにダンボール基地を作りました。



また、参加された保護者に対し、ボーイスカウト活動について懇切に説明しましたが、活動内容などを熱心に質問される方が多く、とてもいいPR活動が出来ました。

### 賑わった第40回岡崎こども祭り

三河葵地区 組織拡充委員長 後藤 龍夫

晴天に恵まれた4月28日(日)、岡崎市には園児・小学生が22、800名ほどがおりますが、「第40回岡崎こども祭り」が、子供会・ガールスカウトさんとの合同で開催されました。

毎年が一番人気、モンキーブリッジとツイストです。モンキーブリッジには、順番を待つドキドキワクワクの子供たちの長い列ができ、揺れるブリッジを楽しんでもらい、一方、炭火のツイストコーナーでは、おいしく焼き上がるのを心待ちにしている大勢の親子の笑顔が。

広い会場は人で埋め尽くされ、親御さんたちには、スカウト活動を識っていただくいい機会になりました。



弘法興隆、地域振興・青少年の健全育成と世界の平和を願っています。

## 祖父江善光寺

善光寺は宗派を問わずお参りするお寺

〒495-0001  
愛知県稲沢市祖父江町祖父江南川原57-2  
TEL (0587) 97-0043  
FAX (0587) 97-6043  
<http://www.zenkoji.com>

## 私たちは、ボーイスカウト運動を 応援しています!

岡谷鋼機株式会社

東邦ガス株式会社

株式会社大丸松坂屋百貨店

株式会社センゾー

名古屋鉄道株式会社

興和株式会社

株式会社水野鞆店

新東工業株式会社

一般財団法人ボーイスカウト愛知県連盟維持財団  
(敬称略 特別維持会員のの方々です。)



# ニュース & トピックス 〈名古屋〉

## 東本願寺(真宗本廟)奉仕団に参加して

名古屋北斗地区 名古屋第30団 ベンチャー隊 鈴木 美月



発団50周年記念行事で3月16・17日京都東本願寺(真宗本廟)への奉仕団に参加しました。滞在中に4度のお勤め、清掃奉仕、諸殿拝観、考察など様々なプログラムがありました。これらのプ

ログラムのおかげで、私は人生の過去を思い返し、今を見つめ直し、未来を描くことができたように思います。様々な問題が顕在するなか、仏教精神に立ち返り、自分を鑑みることから、どの様に生きていくのがよいか、考えることが出来ました。今回参加して「ちかい」にあるように信仰心は、心の支えになり、真のボーイスカウトの一歩になると思いました。

## 初めての野営でクリスマスケーキ

名古屋西部地区 名古屋第16団 ボーイ隊スカウト 杉山 海斗

昨年12月22日・23日に、ボーイスカウトに上進して初めての野営を体験しました。カブスカウトの時は、野営ではなかったので、行く前からとてもワクワク・ドキドキしていました。

夕食では、ハンバーグとホットケーキを飾り付けた「クリスマスケーキ」を作りました。ハンバーグは、玉ねぎを切ることや焼き加減が難しかったけれど上手にできました。ホットケーキは形が楕円になってしまったけれど、ホイップクリームと苺で飾り付けて、立派なケーキになりました。

自分達で作った夕食を囲んで、すてきなクリスマスパーティになりました。他にもテント泊、朝食作りも楽しかったです。今まで経験したことのない事ばかりだったので勉強になりました。これからもいろいろなことをもっと経験していきたいです。



## チャリティーの応援で国際交流

名古屋千種地区 名古屋第39団ボーイ隊隊長 小塚 達也

5月19日(日)、モリコロパークで開催された米国商工会議所主催の第22回ウォークソン国際チャリティー・フェスティバルに千種地区として2回目の奉仕をしました。催しの目的は地元の児童養護施設やチャリティー団体のために寄付金を募ること。奉仕内容はウォークラリーの企画運営と撤収作業でした。



英語が飛び交う中で一生懸命に単語を駆使してスカウトたちも交流を図っていました。

チャリティーを通じて国際交流ができ、スカウトたちには良い刺激となった1日でした。



## カブさん、ハンバーグ作りに戸惑いと歓喜

名古屋巽地区 名古屋第31団 ローバー隊長 青木 正樹

3月24日(日)朝9時より天白生涯学習センターにて、カブ隊の隊集会を開催しました。

この日のメイン行事は、牛肉100%ハンバーグ作りです。スカウト6名、デンリーダー2名、父兄2名、リーダー6名が参加しました。

一人当たり100g以上のミンチをあてがわれたカブさんは、初めて混ぜるミンチに悪戦苦闘でした。

ワイワイ言いながら、ご父兄の手を借りたり、隊長の助言をもらいなんとか平たいハンバーグのかたちに。そのあと一人ずつフライパンに移し自分で焼きました。焦げてしまうものあり、うまく焼けるものありで、色々な出来上がりでしたが、最後にそれぞれのトッピングを加え美味しくいただきました。



「もう一度やりたい」というクエストの多い活動でした。

## ビーバースカウトラリー

名古屋北斗地区 組織拡充委員長 田端 三義

6月9日(日) 9:30~14:30 名古屋市守山区小幡緑地公園本園にて名古屋北斗地区2013ビーバースカウトラリーが開催されました。梅雨の晴れ間の中、スカウト31名は招待して集まったお友達49名と共に公園狭しと駆け回り、多様なゲームを通していろんな事が学べました。暑かったけど、楽しかったね!!





# ニュース & トピックス 〈尾張〉

## 16NJ事前訓練キャンプは「Practice makes perfect」が旗印

尾張東地区 愛知13隊隊長 椎葉 浩志



4月27日～29日及び6月1日～2日の2回にわたり、岐阜県各務原市川島スポーツ公園でスカウト・指導者・支援者合せて50名が16NJ事前訓練キャンプを行いました。活動方針はPractice makes perfect. (訓練は成果なり)。朝晩の冷え込み

に対し昼間は非常に暑く体調を崩したスカウトもでてしまいました。それでも2回目ともなると各種技能や礼式、炊事やテント設営はなんとかスムーズに出来るようになり、総じて時間管理(5分前の完了)がスムーズに出来るようになったことやサイト設計もとてもうまくでき、16NJに向けたいい成果を生んだ訓練となりました。



## 盛り上がった地区カブラリー

尾張東地区 組織拡充委員長 椎葉 浩志



尾張東地区のカブラリーは開催にあたり三つのエリアに分けられていますが、今年は各エリアが同じ3月24日に一斉に開催されました。スカウト相互の友情、理解を深めると共に、成人指導者の情報交換及び奉仕と研鑽の場とすべく、プ

ログラムに工夫を重ねてきました。今年は、チームスポーツ・計測ゲーム(スケールハンター)、国当てカルタ(ドリームワールド)、なわ結びリレー(ロープマスター)、地図記号・道路標識などを使ったゲーム(サインキムス)が繰り広げられ楽しい交流ができました。各隊の活動がより一層充実したものになることを期待しています

## スーパーカブ2名 同時に誕生!

尾張西地区 一宮第5団 カブ隊長 喜多 靖親

発団40年余、わが団で初めてスーパーカブが同時に2名誕生しました。1人は「くまスカウト」そしてもう一人はなんと「しかスカウト」です。今回も集会でワッペンがわたされましたが、他のスカウトの羨望の眼差しと、ひととき輝く二人の眼差しが対照的ながら、和やかな雰囲気になりました。スカウト二人の頑張りと保護者の方の協力に、ウォー!ウォー!ウォー!



## 青空のもとで団ラリー

尾張西地区 稲沢9団 カブ隊長 佐藤 かつ美



4月29日の祝日、すがすがしい青空のもと、稲沢9団の団ラリーが緑地公園で開催されました。

各隊が「協調」、「観察」、「工作」など、それぞれの活動にみあったプログラムを用意し、団のみんなで楽しみました。また、当日

はGWの最中でしたので、遊びに来ていた大勢の親子連れに、一緒に活動を体験していただきました。

さらに、緑の募金にもご協力いただき、ボーイスカウトがどう活動をしているのかも見ていただくいい機会となりました。

緑地での開放感のせいでしょうか、一生懸命なスカウトの姿は誇らしいものでした。

## 緑の募金 掛け声慣れて迫力凄し

尾張東地区 江南第3団 カブ隊副長 椎葉 育美

江南市まんだら寺の藤祭りは、毎年4月下旬からゴールデンウィークに行われ、江南1～4団が緑の募金を毎年実施しています。PRのため会場内を歩いていた江南市のゆるキャラ「藤花ちゃん」を見つけ特別にお願いして記念撮影を行いました。スカウト達は最初は大きな声が出せず消極的な感じでしたが途中から大きな声が出るようになりました。一部のスカウトは、応援団風で少しガラが悪かったかなと感じられるほどでした。最後に団委員長からの差し入れてタコヤキをいただき楽しく活動できました。



## 岡谷連盟長に韓国スカウト連盟より「無窮花(“むくげ”)金章」



総会に来賓として臨席された韓国スカウト・ソウル北部連盟キム連盟長より岡谷連盟長に、韓国スカウト連盟総裁功労賞「無窮花(ムグンファ)金章」が授与されました。スカウト運動の発展および青少年運動に貢献した外国の元首や国内外の指導者に授与されるもので、これまでの主な受章者は、韓国歴代大統領はじめ英国のエリザベス二世女王、カール・グスタフスウェーデン国王、ヨハネ・パウロ二世、米国の宇宙飛行士アームストロング船長、エストラダ

フィリピン大統領、日本では小淵恵三元首相などです。望外の喜びにマイクに向かわれた岡谷連盟長は、「この受章は皆さんと共にいただいたもので、事務局に飾らせてもらいますので、皆さんも手にしてください」と述べられました。



無窮花(ムグンファ)は国の繁栄を意味する言葉として韓国の国花です。無窮花(ムグンファ)がなまって日本語の木槿(むくげ)になったという説もあります。

## ウッドバッジ研修所「ボーイスカウト課程」で愛知初の女性所長

愛知のウッドバッジ研修所は114期を迎えましたが、「ボーイスカウト課程」で初の女性所長として奉仕された加藤利江子さんを、指導者トレーニング委員会によるインタビューで紹介いたします。

ウッドバッジ研修所の目的は、導入訓練課程(ボーイスカウト講習会)の訓練を修了した者が、当該部門の隊長としての責務を果たすことができるように、スカウト教育と隊運営に関する基礎的な方法を習得することです。研修期間は3泊4日のテント泊ですが、愛知連盟では部門別(ビーバースカウト、カブスカウト、ボーイスカウト及びベンチャースカウト)に春と秋に全6コースを開設しています。



—今までの主な奉仕歴をお聞かせください。  
裏方としてコースの運営をサポートする奉仕と所員を含めて、研修所は18回、実修所は2回です。  
—ボーイ部門を担当されていますがその理由は?  
私自身スカウト経験はなかったのですが、履修したのがボーイスカウト課程で、指導者としての奉仕もずっとボーイ部門だったからです。

—所長として心がけられたことは?  
参加者に対しては常に快活な研修状況を保つことを心がけました。  
—114期のご感想は?  
参加者が非常に若かったことに加え、今年の夏の日本ジャンボリーを意識しました。野営生活にしっかり密着したボーイスカウト部門らしい研修

だったと思います。  
—今後の抱負をお聞かせください。  
気力・体力の維持に努め、野営技能を向上させること、又、営火などでは光と音を活かすアイデアを後輩に伝えたいと思います。

## ボーイスカウト愛知連盟 平成25年度役員

平成25年度役員は、次のとおり選任されました。(敬称略)

|         |  |  |  |
|---------|--|--|--|
| 名誉連盟長   | 大村 秀章(愛知県知事)                                       | 名誉副連盟長                                       | 河村 たかし(名古屋市長)                                |
| 連盟長     | 岡谷 篤一  | 副連盟長   | 宇野 真之 野村 正直                                  |
| 理事長     | 永井 淳   | 副理事長   | 武田 正典 船橋 鐸夫                                  |
| 学識経験者理事 | 中村 倫之(組織・拡充委員長)<br>榊原 孝治(行事・国際委員長)<br>荒川 航一(ARC議長) | 斉藤 茂美(スカウト進歩委員長)<br>滝 克己(行事・国際副委員長)<br>小栗 宏次 | 櫻井 茂生(指導者トレーニング委員長)<br>鈴木 市男(総務委員長)<br>安田 武司 |
| 地区代表理事  | 山下 裕行 加藤 隆<br>神谷 昭範 八木 幸雄                          | 水野 義久 三井 信之<br>沼澤 光男 内藤 吉文                   | 宮田 勇 井上 勲 水谷 恵至<br>長野 光義 宮野 澄夫 金子 孝博         |
| 監事      | 竹山 勉 安藤 芳朗   |  |  |
| 名誉会議議員  | 大前 須美 浅野 武雄  | 林 悦子 小林 泰陸                                   | 加藤 正文 肥田 荘治 山川 友一 服部 武行                      |

### 編集後記

団委員長研修協議会での杉原日本連盟先達の特別講演「ボーイスカウト運動が目指すもの」は、南米エクアドルに伝わるハチドリ物語で括られた。山火事でほかの大きな動物たちがわれ先にと逃げ出す中、たった一羽でその小さなくちばしで水滴を何度も運んで消火活動に励むハチドリのクリキンディ。「そんなことをして何になる?」と笑う動物にクリキンディは「私は、私にできることをしているだ

け」と答える。小さなひとしずくでも、みんなの「私にできること」が集まれば大きな力になることの教えである。翻って、スカウトの「私にできること」の問いのひとつが、スローガンである「日々の善行」か。日本中のスカウトの小さなひとしずくが、アジア太平洋地域のスカウト、世界中のスカウトのひとつひとつが、スカウト運動のおおきなうねりになってほしい。梅雨明けは早かった。今夏、「さらら浜」が仲間との出会いを待っている。(HK)

